

ア メ ン ボ

Gerris paludum



種名

分類

カメムシ目アメンボ科

形態的な
特徴

体は細長くほとんど黒色であるが、腹面は銀白色の軟毛がびっしりと生えている。翅が腹部より長い長翅型と短翅型がいる。乳黄白色の細長い形をした卵を約 20 個ほど列状に産みつける。

分布

北海道、本州、四国、九州、トカラ諸島に分布する。

繁殖行動

雌は雄を「おんぶ」したまま水中に潜り、水中の水草の茎などに卵を産む。水中でふ化した幼虫はすぐに水面に向かって泳ぎだし、成虫と同じように水面で生活するようになる。

生息場所

広範囲に渡って生息し、流れの緩やかな川や水田、水溜まりなど一時的なものも含め、あらゆる止水域で見られる。常時、強く日光が直射する水面や休息をとるための岸、浮遊物のない水面など完全な解放水面では生息できない。

食性

水面に落ちてきた昆虫などの体液を吸うほか、魚などの死体に群がりその体液を吸うこともある。

生息環境への
配慮事項

さまざまな水域でもっとも普通にみられ、身近な昆虫である。しかし表面張力を利用して水面に浮いているため、生活排水などが入り込むと浮くことができず溺れてしまう。また、水際植物帯は餌の供給源となるほか、不意の波風などの緊急の避難場所として利用されたり、飛ぶことのできない幼虫を外敵から守る避難場所となるなど重要な存在である。

その他

引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変